

公共施設等を管理していくための基本方針

I 統合・廃止の推進方針

公共建築物（ハコモノ）については、施設評価に基づき、**継続（維持）、改善、見直し（複合化、集約化、転用、減築）、廃止**などの取組みを進め、保有総量の縮減を図ります。
ハコモノの保有総量は、今後40年間で現状の施設の延床面積総数から**30%縮減**することを目標とし、将来の財政負担の軽減及び平準化を図ります。

II 安全確保及び点検、適切な維持管理及び更新の実施方針

定期的な点検・診断を実施し、劣化状況等を整理しながら、施設の安全確保を図るとともに、評価に基づき適切な更新を実施します。

III 長寿命化・耐震化の実施方針

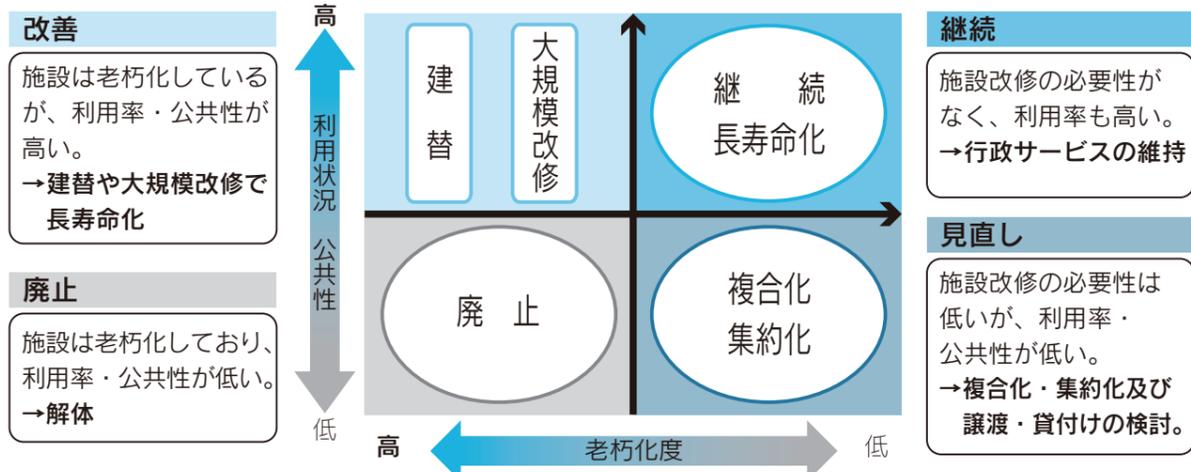
今後も維持していく必要のある施設は、計画的に保全策を実施し、長寿命化を進めていきます。

IV 効率的な施設運営の実施方針

施設の管理や整備に、民間活力を積極的に活用し、効率的・効果的な施設運営をめざします。

V 施設評価の実施方針

公共施設（ハコモノ）について、建物性能、利用状況、管理運営状況等の分析により適正な施設配置と見直しの可能性などの検証を行い、施設保有量の最適化を進めます。



公共施設を管理していくための具体的方針

- 1) 新たな施設の建築及び建替えは、原則行わない。必要な場合は、複合化を図り、規模を縮小して建築する。
- 2) 耐震基準を満たしており、今後も公共で維持していく必要のある施設については、適宜点検・改修等を行い、長寿命化に努めながら維持していく。
- 3) 耐震基準を満たしていても、今後、利用の見込まれない施設については、譲渡・貸付けを進めていく。
- 4) 耐震基準を満たしていない施設は、施設の解体を進める。
- 5) 耐震基準を満たしていない施設でも、今後も行政での設置が必要な施設については、他施設との複合化・集約化を推進する。
- 6) 施設の建築及び管理運営は、民間活力の導入を検討する。

【問合先】 財政課 財産管理係 ☎0978-72-5165

国東市公共施設等総合管理計画を策定しました

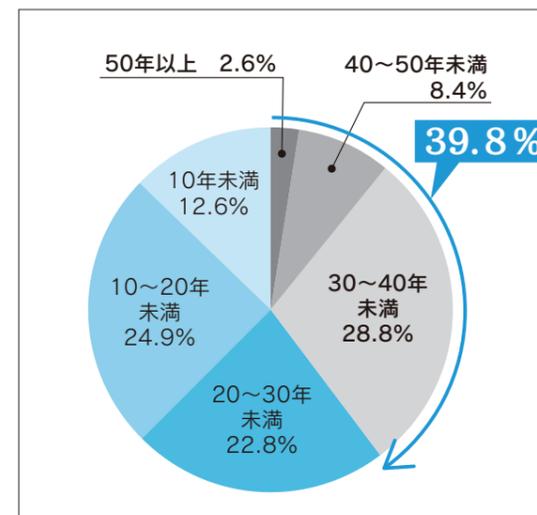
高度経済成長期に多くの公共施設等が建設され、老朽化が進行しつつあることから、効率的かつ計画的に公共施設を管理するための基本的な方針を定める「国東市公共施設等総合管理計画」を策定しました。今後は、この計画に沿って、公共施設を適正に管理していきます。

公共施設（ハコモノ）の保有状況

(平成28年3月末 住基人口29,612人)

施設数	延床面積の総計	市民1人当たりの延床面積
267	288,798 m ²	9.8 m ² (全国平均の約3倍) ※全国平均3.2 m ²

公共施設（ハコモノ）の39.8%が老朽化



市民アンケートの結果

市民の皆さんの公共施設に対する考えを把握するため、昨年7月に市民3,000人を対象にアンケート調査を実施しました。
結果を分析すると、市民の皆さんの多くは、現在ある公共施設のすべてを維持していくことは財政的に難しい状況にあることに概ねご理解をいただいております。公共施設を縮減していくことに賛成する意見が多数でした。

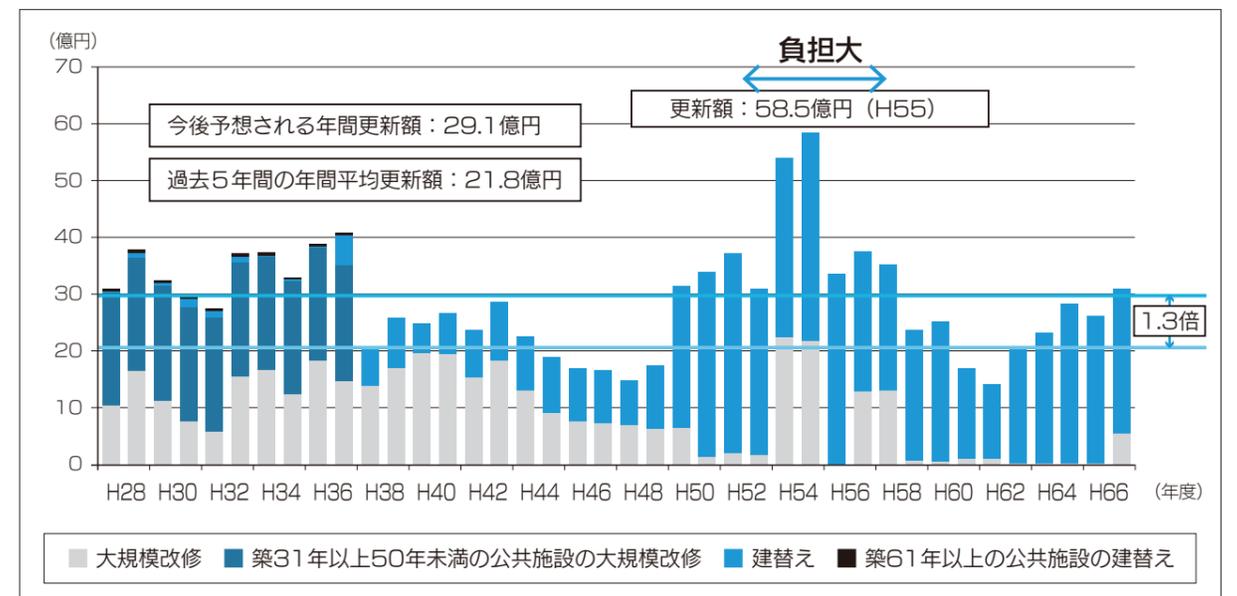
【アンケートの抜粋】

設問 公共施設の老朽化に伴い、建替えや維持管理に必要な経費が増えていくことが見込まれますが、今後の公共施設はどうあるべきと思いますか。

施設を減らしていくべきとの回答が約9割

公共施設（ハコモノ）の更新費用推計

40年間の総額 約1,166億円(約29億円/年) ※過去5年間の年間平均更新額の1.3倍の金額



※推計方法 総務省が提供した更新費用試算ソフトを用いて、延床面積×更新単価で一律に試算。(建築後30年で大規模改修、その後30年で建て替えると仮定)